

## 「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
デンカ株式会社	代表取締役社長	山本 学	東京都	製造業	<a href="https://www.denka.co.jp/">https://www.denka.co.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月10日
-------	------------

**(取組方針)**

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

**(法令遵守への配慮)**

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

**(契約内容の明確化・遵守)**

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	③	パレット等の活用	・パレット等を活用し、荷役時間を削減します。
3	A	⑥	集荷先や配達先の集約	・トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から配達先の納期集約について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
4	A	⑧	出荷に合わせた荷造り等	・出荷時の順序を想定した荷造り等を行い、荷待ち時間を短縮します。
5	A	⑨	荷主側の施設面の改善	・倉庫等の物流施設のレイアウト変更を行い、荷待ち時間や荷役時間を短縮します。
6	A	⑩	リードタイムの延長	・発荷主として着荷主と調整しリードタイムの延長に取り組めます。
7	A	⑪	高速道路の使用	・物流事業者から、高速道路の使用と料金の負担について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
8	A	⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	・長距離輸送について、船舶や鉄道を積極的に利用します。この際に、運送内容や費用負担についても必要な見直しを行います。
9	B	①	運送契約の書面化の推進	・運送契約の書面化を推進します。
10	C	①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	・契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
11	C	②	働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用	・働き方改革や輸送の安全性の向上等に取り組む物流事業者を積極的に活用します。
12	D	②	異常気象時等の運行の中止・中断	・異常気象時等に、物流事業者が運行の中止・中断等が必要と判断した場合は、その判断を尊重します。
13	F	②	3PL導入	・3PLを導入し、効率的な積み込みによるトラック待機時間を短縮します。

PR欄	<p>・当社は企業活動の根幹となる企業理念「The Denka Value」(Denkaの使命、Denkaの行動指針)を実践するため、ESG(環境・社会・統治)の視点からその基本的な方針を定めた「デンカグループCSR基本方針」を制定しております。</p> <p>・また当社グループが対処すべき課題をCSR最重要課題(マテリアリティ)として特定し、持続可能な社会の実現のために社会の一員としての責任を果たすために行動しております。そしてすべての取引先が当社のよきパートナーであるとの認識に基づき、「CSR調達ガイドライン」の下、サプライチェーン全体で社会的責任を実現するための取り組みを行っております。</p> <p>・当社グループのCSRの取り組みにつきましては、当社ウェブサイト「DenkaのCSR」をご覧ください。 www.denka.co.jp/sustainability/</p>
-----	---